IWATE MEDICAL UNIVERSITY NEWS

岩手医科大学報

2021. 1 No.532

主な内容

新年のご挨拶
特集――臨床研修医等宿舎新築工事の進捗状況
トピックス――第6回いわて東北メディカル・メガバンク機構学内報告会が開催されました
トピックスプラス――岩手県対がん協会矢巾新施設「すこや館」の竣工式が挙行されました
フリーページ――すこやかスポット看護学講座No.4「NSTリンクナース活動を通した栄養サポートの取り組み」

表紙写真：岩手医科大学から望む岩手山
（2021.1.6 マルチメディア教育研究棟４階から撮影）

Iwate Medical University

新年のご挨拶

理事長　小川　彰

新年あけましておめでとうございます。

新型コロナの影響で「おめでとう」とは言い難い暗い１年の幕開けとなってしまいました。教職員諸君は日々緊張と我慢の毎日と思います。大変ご苦労様です。岩手医科大学としても、一昨年、世界に誇れる最新鋭設備と患者中心の医療拠点を掲げた新病院が開院し、昨年は、新附属病院と内丸メディカルセンターの運営を確立し、次の事業である内丸再開発を軌道に乗せる計画でした。そこに新型コロナ感染症が暗い影を落としました。

岩手県唯一の「特定機能病院」である岩手医科大学の岩手県・北東北に果たす役割は極めて重いものがあります。都会には複数の大学病院がありますが、岩手県には本学しかありません。北東北３県をみても他２県の大学病院の約２倍の規模を誇ります。大学病院の役割は一般に「教育」「研究」「高度診療」の３つと言われています。しかし、地方においては「地域医療支援」を加えた４つと私は考えています。本学には400人を超える臨床医が働き、各人は週に一回は地域医療支援に回っています。病院内で職員に新型コロナ感染が発生すれば、大学病院の機能は停止します。そしてそれは、岩手県の高度医療と地域医療支援が止まることを意味します。従って、本学の機能停止は岩手県のみならず北東北の「医療崩壊」につながるのです。昨年春、県、県医師会、県内主要病院院長、本学間の合意形成の下、新型コロナ感染症患者を軽症、中等症、重症、最重症患者のカテゴリーに分類し、入院医療提供体制を整備しました。新型コロナ感染症患者が発生し、患者増加の際も、それぞれの医療機関・施設がその役割を果たし、その結果、岩手県は医療崩壊をきたすことなく、本学附属病院は極めて順調に運営されています。

学校部門でも、昨年４月当初から対面講義による通常の教育が行われており、これも関係各位のご努力の賜であり、ご協力に感謝いたします。

教職員の皆様には、本学の社会的使命を今一度ご確認され、国家、世界の危急の大事を乗り越える助けとして力を尽くすようお願い申し上げ、新年のご挨拶と致します。

学　長　祖父江　憲治

明けましておめでとうございます。今年はコロナ禍で行動制限せざるを得ない中で、皆様方におかれましては御家族共々に新年を迎えられましたことと、お慶び申し上げます。

昨年春先より始まった新型コロナウィルス感染症の大流行で、本学におきましても3月の令和元年度卒業式と4月の令和2年度入学式を、急遽中止せざるを得ませんでした。卒業生と新入生諸君さらに御父兄には、大変に残念な思いをさせてしまう結果となりました。本学では全学部の全学年に対して、講義は可能な限り（ソーシャルディスタンスを保った）対面講義を基本とし、必要に応じ遠隔授業も導入しております。実習に関しても、出来うる限り従来通りの実習を施行し、院内を含め外部でも実習出来ない場合には、代替実習を行うなどの措置をとっております。コロナ禍でも学生諸君には出来る限り不都合を生じさせないため、教職員の皆様方の大変な御尽力を頂いておりますことに、改めて感謝申し上げます。矢巾附属病院と内丸メディカルセンターにおきましても、教職員一体となって感染防御に努め、世界水準の医療を提供し県内唯一の特定機能病院として、かつ本学本来の使命である地域医療の中核基幹病院としての役割を果たしてまいりました。昨年7月以降、本県での発症が報告され、第三波といわれる現在では、ほぼ市中感染の様相を呈しています。本学でも学外で数名の感染者を出しましたが、幸いなことに学内および院内における感染はなく今に至っております。コロナに関しましては、本学教職員から学生諸君に至る全構成員が、まずは自己の衛生管理を入念に行い、べからず五か条を遵守し、まずは自身がコロナ発症せず、うつさず、医療系従事者・学生として、コロナ禍に対峙してまいらなければなりません。殊に、矢巾附属病院と内丸メディカルセンターに勤務の教職員の皆様方におかれましては、コロナ患者急増でまさに野戦病院の如き状況に陥る可能性も予想されます中、県民の生命を守るため皆様方のご活躍に感謝する次第です。

本学の学生教育に関しましては、昨年の医師・歯科医師国家試験で、医師国試はまずまずの成績、歯科医師国試は私学トップの成績でした。医学部では6年、５年、４年生と、さらに好成績が期待される学年が控えています。医学部・歯学部教職員の皆様方の血の滲むような努力と、学生諸君の頑張りによるものです。薬学部は国試と入学生数ともに苦戦が続いておりますが、この状況を突破する手立ては、教員自身の大いなる意識改革が必要であろうと考えています。この状況は小手先だけで解決できるものではなく、学生諸君の自信とモチベーションを高めるための工夫も重要だと思います。教員の皆様方のなお一層の御努力を期待しております。看護学部はいよいよ卒業生を送り出す完成年度となりました。半数近くの卒業生が本学附属病院へ就職、それ以外の卒業生諸君も大多数が東北を中心に就職する予定で、今後の活躍を楽しみにしております。

矢巾の新附属病院が開院して１年数カ月、ようやく地に足ついた活動という時にコロナ禍となりました。大変な状況ではありますが、本学の中・長期ビジョンに向け、矢巾の新附属病院と内丸メディカルセンター各々の特色を生かした役割を担い、岩手県から北東北の医療中核拠点病院と盛岡医療圏の地域医療拠点病院として、さらなる発展をさせるべく、本学教職員の皆様方と力を併せがんばってまいりましょう。

世の中が騒然とした不安定な時ではありますが、皆様方におかれましては、ご自愛下さいますと同時に、今後とも御活躍されますことをお願い申し上げまして、新年のご挨拶とさせて頂きます。

特集

臨床研修医等宿舎新築工事の進捗状況

令和３年３月の完成に向け、工事を進める臨床研修医等宿舎。本稿では、宿舎の名称と工事の進捗状況についてご紹介します。

■ 宿舎の概要

宿舎は矢巾キャンパスマルチメディア教育研究棟西側に建設され、入居者が安心・快適に過ごすことができる住居空間を確保しています。宿舎と附属病院は連絡通路で接続され、屋内のまま病院との往来が可能。出入口はカードキーで管理し、セキュリティが確保されます。また、居室のレイアウト等には、臨床研修医の意見が取り入れられています。

入居対象者は、本学附属病院の臨床研修医の他、専攻医、専門研修医、高度看護研修センター研修生等とし、附属病院で研修をする他病院の臨床研修医も利用可能です。

対象者	臨床研修医、専攻医、専門研修医、高度看護研修センター研修生　他
戸　数	30 室（院外研修医用３室）
構　造	鉄筋コンクリート造　２階建
間取り	１ルーム（居室 12 帖）
設備・備品	エアコン完備、TV・インターネット設備、IH コンロ、LED 照明、クローゼット、浴室乾燥機、各戸テンキー錠　等

間取り

メインエントランスイメージ（南西方面から）

建物銘板イメージ

◆宿舎の名称

臨床研修医、専攻医等に宿舎名称を募集し、投票の結果「Resident Heim（レジデントハイム）」に決定しました。レジデントには、レジデンス（住居）とレジデント（研修医）の２つの意味が含まれています。

■ 宿舎新築工事の進捗状況

令和２年９月から新築工事に着手し、10 月からは建物の基礎部分となるコンクリート打設作業が始まりました。11 月上旬には１階の立ち上げが終了し、中旬からは２階のコンクリート打設作業に取り掛かりました。12 月中旬には屋上床のコンクリート打設作業を行い、上棟（建物の基本構造が出来上がること）しました。

令和２年 10 月 13 日　基礎コンクリート打設

令和２年 10 月 30 日　１階床コンクリート打設

令和２年 11 月 19 日　２階床コンクリート打設

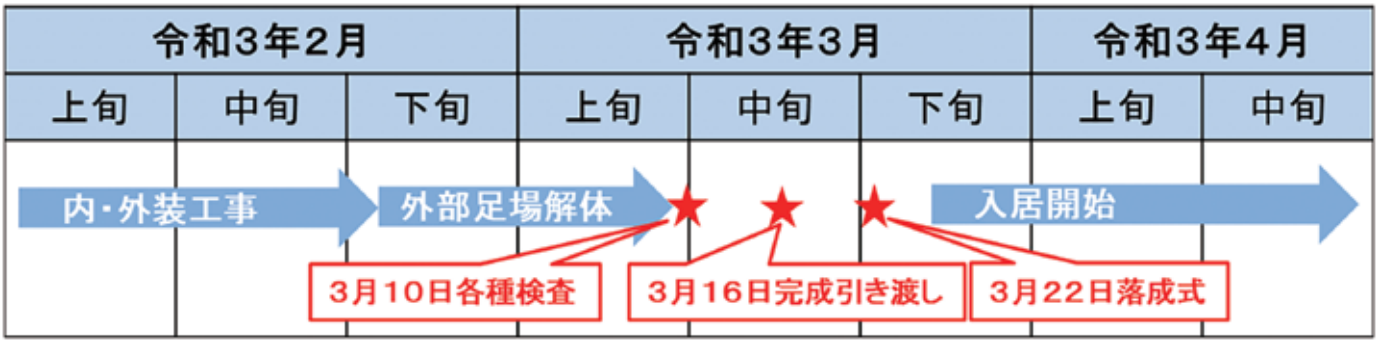
令和２年 11 月 26 日　２階立ち上り

令和２年 12 月 12 日　屋上床コンクリート打設

全景

■ 今後のスケジュール

令和３年１月上旬から内・外装工事に着手し、２月下旬には外部足場が解体されます。３月 10 日に各種検査が行われ、３月 16 日に完成、３月 22 日に落成式が挙行される予定です。



第6回いわて東北メディカル・メガバンク機構学内報告会が開催されました

12月３日（木）、新型コロナウイルス感染症対策のため、オンラインにて第６回いわて東北メディカル・メガバンク機構学内報告会が行われ、祖父江学長をはじめ、教職員約50名が参加しました。

開会挨拶をする祖父江学長

事業概要報告

佐々木 真理 機構長

研究成果報告
**「地域住民コホート調査詳細
２次調査と追跡調査の進捗状況」**

丹野 高三 部門長
（臨床研究・疫学研究部門）

研究成果報告
**「ゲノムオミックス解析研究の進捗と今後の研究シーズ
～学内共同研究の推進に向けて～」**

清水 厚志 副機構長
（生体情報解析部門部門長）

閉会挨拶

平 英一 医歯薬総合研究所長

当日は佐々木機構長らから、事業の進捗状況や研究成果についての報告が行われました。今後、同機構では、中核的取組を推進させていくとともに、他事業等との連携をさらに深め、日本のゲノム医療研究を支える開かれた基盤としてさらなる発展を目指します。

内丸メディカルセンターでクリスマスのサプライズイベントが行われました

12月24日（木）、内丸メディカルセンター外来棟待合ホールにおいて、クリスマスのサプライズイベント「サンタが内丸メディカルセンターにやってきた！」が行われました。

このイベントは、日々不安を抱いている人々に安心感とワクワク感をプレゼントしたいと、内丸メディカルセンターに勤務する教職員有志によって開催されました。

当日は、脳神経外科学講座の西川講師がサンタクロースに扮して登場し、個別に包装されたマスクを外来に訪れた方々にプレゼントしました。西川講師は、報道陣の取材に対し「コロナ禍で心までソーシャルディスタンスをとってしまってはいけない。内丸メディカルセンターはいつでも患者さんに寄り添い、皆さんとともにあることを伝えたかった」と企画に込めた思いを語りました。

外来に訪れた方々は、サンタクロースからのサプライズに笑顔で応じ、クリスマス気分を味わったようです。

プレゼントを配るサンタクロース

佐々木看護師長とサンタクロース

岩手県対がん協会矢巾新施設「すこや館」の竣工式が挙行されました

12月4日（金）、附属病院敷地内に新設された岩手県対がん協会の新施設「すこや館」の竣工式が挙行され、祖父江学長をはじめとした本学関係者や岩手県対がん協会、矢巾町、工事関係者等約30名が出席しました。この施設には同協会本部が移設され、がんや脳卒中などの各種健康診断や人間ドックが受診できます。

式終了後には報道会見が行われ、岩手県対がん協会 小川理事長（本法人理事長）は「高度医療集約地に健診拠点ができたことで受け入れ体制が強化され、適切な治療が受けやすくなる。岩手医科大学と連携し、県民の健康増進に寄与していく」と語られました。その後、式参列者による内覧会が行われ、参加者は興味深く新施設を見学していました。

本施設は令和3年4月1日にオープン予定です。

■竣工式

会場

小川理事長による玉串奉奠（たまぐしほうてん）

■内覧会

受付

健診待合室

表彰の栄誉

東9階A病棟の中村 一美 看護師が文部科学大臣表彰（医学教育等関係業務功労者）を受賞しました

中村看護師と小川理事長

東９階Ａ病棟の中村一美看護師は、長年にわたり本学附属病院の看護業務に尽力し、その功績が顕著であったとして、令和２年度の医学教育等関係業務功労者として文部科学大臣表彰を受賞しました。

中村看護師は、35年の長きにわたり循環器内科、呼吸器・アレルギー・膠原病内科、呼吸器外科病棟等において、専門知識や技術に基づいた看護を実践されました。呼吸器疾患領域では17年のキャリアがあり、肺癌の患者さんの病態や心理状態をアセスメントし、患者さんが主体的に治療を完遂し自立した生活ができるように退院支援にも貢献されました。看護部の理念に基づき、患者・家族の安全・安心、働きやすい職場環境を念頭に、質の高い看護を提供し、後輩看護師の指導や育成、部署の問題解決や多職種連携に向け建設的な意見を提言し、リーダーシップを発揮する等、附属病院の医療・看護を支えた功績が表彰されました。

歯科技工部の岡田 誠 歯科技工士長が岩手県知事表彰（保健医療功労）を受賞しました

岡田歯科技工士長と小川理事長

歯科技工部の岡田誠歯科技工士長は、長年にわたり本学附属病院歯科医療の技工士業務に尽力し、その功績が顕著であったとして、令和２年度の岩手県知事表彰（保健医療功労）を受賞しました。

岡田技工士長は、歯科医療の専門技術者として技工士業務に従事し、岩手県の歯科保健医療に貢献されました。歯科技工部内での問題解決や調和を考えながら業務を進め、若手技工士の教育も積極的に行う等、36年の長きにわたり、岩手県の保健医療に貢献した功績が認められ表彰されました。

教職員レター No.72

「ハートが横になってるぞ～、俺たちの特権」

12月18日の朝に、西9階A病棟のラウンジから、南昌山側の山並みに、患者さんがハートを見つけて、夜勤の看護師に教えてくれました。すかさず携帯電話を持って撮影しました。その患者さんは、人工肛門を造設して、これからストーマとずっと付き合っていかなければならないなぁと気持ちが落ち込んでいたときに、ふと外を眺めると、ハートを見つけたとのこと。それから毎日ハートを眺めるうちに、気分が落ち着いて頑張ろうという気持ちになったのだと教えてくれました。毎日窓の外に見えていたハート、患者さんから癒しをもらったと同時に、改めて、内丸から矢巾に移転してきたんだなぁと思う瞬間でした。

（文責：西9階A病棟看護師長 石森 由樹）

理事会報告　（11月定例－11月30日開催）

1．教員の人事について

統合基礎講座微生物学講座分子微生物学分野　准教授
　下山　佑（前　同分野　講師）
（発令年月日　2020年12月1日付）

看護学部地域包括ケア講座　教授
　遠藤　太（現　同講座　特任准教授）
看護学部地域包括ケア講座　准教授
　熊地　美枝（現　日本赤十字秋田看護大学看護学部看護学科　講師）
　大澤　扶佐子（現　同講座　講師）
（発令年月日　2021年4月1日付）

《岩手医科大学報編集委員》

小川　彰　佐藤真結美
影山　雄太　工藤　静子
松政　正俊　工藤　正樹
齋野　朝幸　及川　弘美
藤本　康之　安保　淳一
白石　博久　佐々木忠司
成田　欣弥　畠山　正充
遊田由希子　藤村　尚子
佐藤　仁　武藤千恵子
小坂　未来　髙橋　慶
藤澤　美穂

編集後記

矢巾新病院が開院して一年が経過しました。この間、世の中では新型コロナウイルス感染拡大を受け、これまで当たり前のように行っていた会食や旅行、観光などが制限され日常の生活様式が一変してしまいました。そういう意味では激動の一年でありましたが、私にとっては記憶に残る出来事の少ない一年でもありました。

今年こそはこの新型コロナウイルス感染拡大が収束し、無事、東京オリンピックが開催されることを切に望みます。そして、記憶に残る出来事が密となりますよう願っております。

（編集委員 安保 淳一）

岩手医科大学報　第532号

発行年月日　令和3年1月31日
発　行　学校法人岩手医科大学
編集委員長　小川　彰
編　集　岩手医科大学報編集委員会
事務局　法人事務部　総務課
TEL. 019-651-5111（内線5452、5453）
FAX. 019-907-2448
E-mail: kouhou@j.iwate-med.ac.jp
印　刷　河北印刷株式会社
盛岡市本町通2-8-7
TEL. 019-623-4256
E-mail: office@kahoku-ipm.jp

すこやか

スポット看護学講座 No.4

看護専門基礎講座　教授　遠藤　龍人

NST リンクナース活動を通した栄養サポートの取り組み

栄養管理はあらゆる疾患に共通する基本的な治療の一つであり、予後の改善や入院期間の短縮のためには、多職種連携の強化が重要とされています。本稿では、附属病院におけるリンクナース活動を通した栄養サポートの取り組みについてご紹介します。

NSTリンクナース会

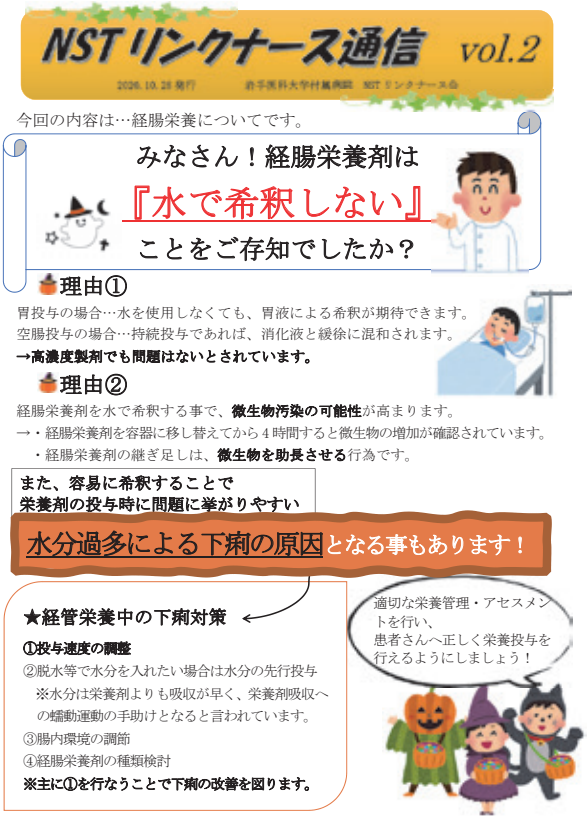
当院の栄養サポートチーム（NST）は、医師、歯科医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、臨床検査技師、歯科衛生士、言語聴覚士、理学療法士、事務スタッフから成り、看護スタッフが病棟管理栄養士と連携を図りながら充実した栄養管理を提供するために、病棟・外来にリンクナースを配置して活動しています。リンクナース会は、リンクナースおよびコアナース（日本臨床栄養代謝学会認定のNST専門療法士）で構成され、その役割を「自部署患者の栄養管理の実施・情報とサービスの提供」と定め、栄養管理に関する情報の共有や職員への啓発のために月１回開催しています。

低栄養の判定には体重減少や食事摂取量減少の有無が極めて重要であることから、定期的な体重測定や毎食の喫食率の把握、栄養アセスメントの必要性を啓発するとともに、嚥下スクリーニングや下痢に対する栄養管理などの勉強会を通して、輸液・栄養剤・食形態などに関する情報を「リンクナース通信」として年に２～３回発行しています。

リンクナース会の様子

“万病に効く薬はないが、栄養は万病に効く”

この言葉は、日本臨床栄養代謝学会元理事長の小越章平先生の言葉です。栄養管理の効果が見えるには時間がかかりますが、短期間に低栄養に陥ります。今後もNSTリンクナース活動を通して栄養障害を生じるリスクが高い患者に早期から介入する体制を強化するとともに、退院後の外来通院や地域連携に繋げる活動に取り組んでいきたいと考えています。



NSTリンクナース通信 vol.2

2020.10.28 発行　岩手医科大学付属病院　NSTリンクナース会

今回の内容は…経腸栄養についてです。

みなさん！経腸栄養剤は
『水で希釈しない』
ことをご存知でしたか？

理由①

胃投与の場合…水を使用しなくても、胃液による希釈が期待できます。
空腸投与の場合…持続投与であれば、消化液と緩徐に混和されます。
→高濃度製剤でも問題はないとされています。

理由②

経腸栄養剤を水で希釈する事で、微生物汚染の可能性が高まります。
→・経腸栄養剤を容器に移し替えてから４時間すると微生物の増加が確認されています。
・経腸栄養剤の継ぎ足しは、微生物を助長させる行為です。

また、容易に希釈することで
栄養剤の投与時に問題に挙がりやすい

水分過多による下痢の原因となる事もあります！

★経管栄養中の下痢対策

①投与速度の調整
②脱水等で水分を入れたい場合は水分の先行投与
※水分は栄養剤よりも吸収が早く、栄養剤吸収への蠕動運動の手助けとなると言われています。
③腸内環境の調節
④経腸栄養剤の種類検討
※主に①を行なうことで下痢の改善を図ります。

適切な栄養管理・アセスメントを行い、
患者さんへ正しく栄養投与を
行えるようにしましょう！

リンクナース通信（2020 年 10 月 28 日発行）